平成27年度　ＦＤ活動報告　　人間社会学研究科

１　ＦＤ活動の実施体制、取り組みの概要

・　部局教育運営委員から１名を部局FD委員とし、教育改革専門委員とともに部局内のFD推進を図る。

２　ピア授業参観実施状況

期間	被参観授業数	参観者数	特記事項
前期	0	0	公開、非公開の別は設けず、授業担当者に参観を申し入れて参観実施することとしている。
後期	2	16	
年度合計	2	16	

３　ＦＤに関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

開催日	内容（タイトル）	種別	参加者数
2015/06/25	FD カンファレンス（2014 年度卒業・修了予定者アンケート結果の共有）		57
2016/03/25	FD カンファレンス（2015 年度実施の卒業者・修了者アンケート結果の共有、FD 年間活動の報告と計画の共有、成績評価についての研修）		47

４　ＦＤに関する会議、委員会の開催状況

会議・委員会名	内容	回数	委員数
部局の教育運営委員会	ＦＤ関連事項の有無は開催月による。	毎月	9

５　その他取り組みの具体的実施状況

１．TA 研修（授業の参観、レポートの提出）を実施した。

２．TA 研修で提出されたレポートで、授業担当者の FD として有用と思われる指摘などについては、発言の自由を確保するため、別ルートで当事者に伝える体制を整えた。

３．授業改善のための学生アンケートを実施し、要検討項目については研究科としての対応を研究科長に求めた。

４．後期課程修了者アンケートを実施し、『課程修了の手引き』の補遺冊子を作成して、後期課程在学生、教員に配付した。学位取得に至るまでの過程を可視化、共有して、課程修了までの指導の円滑化に寄与する効果を期待できる。

５．成績評価基準の明確化のため、2015 年度より全科目シラバスに A+～D の評価内容を記載している。

６．博士後期課程での指導体制整備として、副指導教員制を充実させ、休学者を含めて、全学生に副指導教員をつけることが始まった。
７．3 月ＦＤカンファレンスにて、成績評価方法に関するこれまでの本学の議論の流れを整理して共有し、新しいシラバス記載法が含意する絶対評価としての意義を確認した。
８．350 科目のＧＰＣの共有と検討を研究科教員とともに行なった。
９．院生に授業改善アンケートを行ない、いくつかの科目について次年度の改善を図った。

人間社会システム科学研究科　2016（平成 28）年度 FD 活動計画

FD 実施組織体制の更なる整備

１) 大学院 FD 部会：新専攻を含めて、新しい FD 活動体制を構築する。
　　研究科の教育運営委員全員がＦＤ活動の責任をもつ。
２）大学院 FD カンファレンスの開催
　　学生アンケート結果の分析と課題の共有
　　FD 活動の総括・方針の協議
　　ＦＤ研修

2016 年度実施計画

３）TA 研修の実施
４）教育改善のための学生アンケート
５）カリキュラム改善の検討
○大学院カリキュラム（授業科目構成・コース編成、提供クラス数）の改善
　　学生の要望を聞いて、提供クラス数、時間割の改善など、可能な対応を検討して、改善の実をあげる。
６）授業改善のための取り組み
○大学院教育向上のための種々の取り組み。特に成績評価基準の明確化と、研究倫理教育の充実を検討。
○その他、各専攻による独自の取り組みなど